

english abstract attached to back of document

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭60-77595

⑬ Int.Cl.⁴

H 04 Q 3/58
H 04 M 1/72

識別記号

107

庁内整理番号

7117-5K
7117-5K

⑭ 公開 昭和60年(1985)5月2日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全2頁)

⑮ 発明の名称 ボタン電話機

⑯ 特 類 昭58-186665

⑰ 出 願 昭58(1983)10月5日

⑱ 発 明 者 宮 本 良 彦 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内
⑲ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号
⑳ 代 理 人 弁理士 内 原 晋

明 細 書

1. 発明の名称

ボタン電話機

2. 特許請求の範囲

ダイヤル発振用のダイヤルパッドとスピーカモーター、マイクオン、保留ボタンなどの機能ボタンおよび局線/PBX回線からの着信および発信の際に使用する局線/PBX選択ボタンなどのボタン群ならびに複数の送受線の選択に使用する送受器切替スイッチとを有する本体部と、この本体部の右側、左側または両側に接続される送受器部とを含むことを特徴とするボタン電話機。

3. 発明の詳細な説明

本発明はボタン電話機に関し、送受器部を左右両側又は、左側、右側に接続することのできるボタン電話機に関する。

していたが、1台のボタン電話機を複数人で使用する場合、ボタン電話機の右側に位置している人などは送受器部が遠くて使用しずらく、又、聞き耳が右耳の人や聞き手が左手の人などは使用しづらいという欠点があった。

本発明の目的は、電話使用時に送受器部が遠くて使用しずらく、又、聞き耳が右耳の人や聞き手が左手の人などは使用しづらいという欠点を解決したボタン電話機を提供するにある。

本発明のボタン電話機は、ダイヤル発振の際に使用するダイヤルと、スピーカモーター、マイクオン、保留ボタン等の機能ボタンおよび局線/PBX回線からの着信および発信の際使用する局線/PBX選択ボタンと通話回線から成る電話機回線網と、複数の送受線の選択に使用する送受器切替スイッチと複数の送受器を接続する複数のコネクタとを有する本体部と、送話器・受話器から成る送受器部と、フックスイッチと本体部に接続できる2個のコネクタから成る送受器部から構成される。

特開昭60- 77595 (2)

つぎに本発明を実施例により説明する。

第1図は本発明の一実施例のシステムブロック図である。第1図において、電話機本体10は、ダイヤル発振の際、使用するダイヤルパッド1と、スピーカモーター、マイクオン、保留ボタンなどの機能ボタン、および局線/PBX回線からの着信および送信の際使用する局線/PBX回線選択ボタンなどのボタン群2と、複数の送受話器の選択に使用する送受切換スイッチ3と、後述の送受器と接続するための複数のコネクタ4a、4bとを有する。その他に、図面には図示されていないが、本体部10の内部には、この電話機回路を構成するための種々の回路部品を含む回路網が内蔵されている。そして、この本体部10の左側には、左送受器部20L、右側には右送受器部20Rが設けられ、それぞれはコネクタ5a、5bを通して接続されたフックスイッチ6、7および送受話器7、7を備えている。

このような本発明の電話機を使用するには、電話機本体部10の左側に送受器部20Lを接続し

た場合、切換スイッチ3をA側にし、通常のボタン電話機同様ダイヤル1、局線/PBX選択ボタン2等を使用する。また、本体部10の右側に送受器部20Rを接続した場合、切換スイッチ3をB側にし、同様の操作をする。さらに、本体部10の右側に送受器部20L、20Rを接続した場合、右側の送受器を使用して発信する時は、切換スイッチ3をB側にし発信する。また、次に着信があつて、左側の送受器20Lで応答する時は、まず切換スイッチ3をA側に移動し、局線/PBX選択ボタン2を押し応答する。

以上に述べた様に、このボタン電話機の場合、局線、内線の着信、着信にかかわらず、使用する送受器側にスイッチを移動して使用する。したがって両側の送受器を同時に使用することはできない。

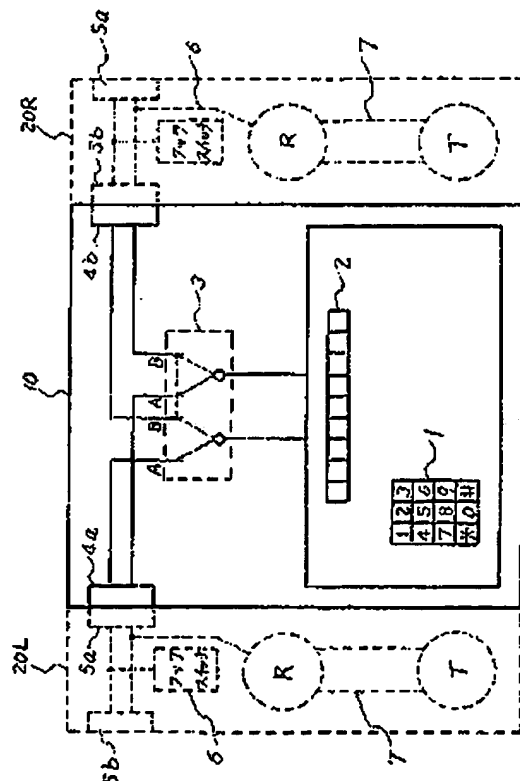
本発明のボタン電話機では、上述のように、ダイヤルパッドなどのある本体部の左右両側または左側、右側に送受器を任意に接続でき、使用者との相対位置に関係なく便利に使用できる効果がある。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例のシステムブロック図である。

1……ダイヤルパッド、2……機能ボタンおよび選択ボタン群、3……送受器切換スイッチ、4a、4b……本体部コネクタ、5a、5b……送受器部コネクタ、6……フックスイッチ、7……送受話器。

代理人 外理士 内 原



第1図

PAT-NO: JP360077595A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 60077595 A
TITLE: KEY TELEPHONE SET
PUBN-DATE: May 2, 1985

INVENTOR-INFORMATION:
NAME
MIYAMOTO, YOSHIHIKO

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME COUNTRY
NEC CORP N/A

APPL-NO: JP58186565
APPL-DATE: October 5, 1983

INT-CL (IPC): H04Q003/58, H04M001/72
US-CL-CURRENT: 379/165, 379/267

ABSTRACT:

PURPOSE: To attain the use of the telephone set independently of the relative position with a user by designing a handset that it is connected optionally to both the right/left sides or the right or left side of a main body section where a dial pad is placed.

CONSTITUTION: When a handset part 20L is connected to the left side of a telephone set main body section 10, a changeover switch 3 is switched to the position A, and a dial 1 and a trunk line /PBX selection button 2 or the like are used similarly as a normal key telephone set. In

connecting the handset
section 20R to the right side of the main body section 10,
the changeover
switch 3 is switched to the position B and similar
operation is conducted. In
connecting the handset to both sides, the switch 3 is
changed over to the
position B when the right side handset is used, and when
the left side handset
20L responds to an incoming call, the changeover switch 3
is switched to the
position A and the user responds to the call by depressing
the trunk line /PBX
selection button 2. The switch is used while being
connected to the handset to
be used independently of outgoing/incoming of the trunk
line and an extension.
Thus, the handsets at both the sides cannot be used at the
same time in this
way.

COPYRIGHT: (C)1985,JPO&Japio